

事業概要シート

施策 1602 観光客受入体制の整備

《 》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

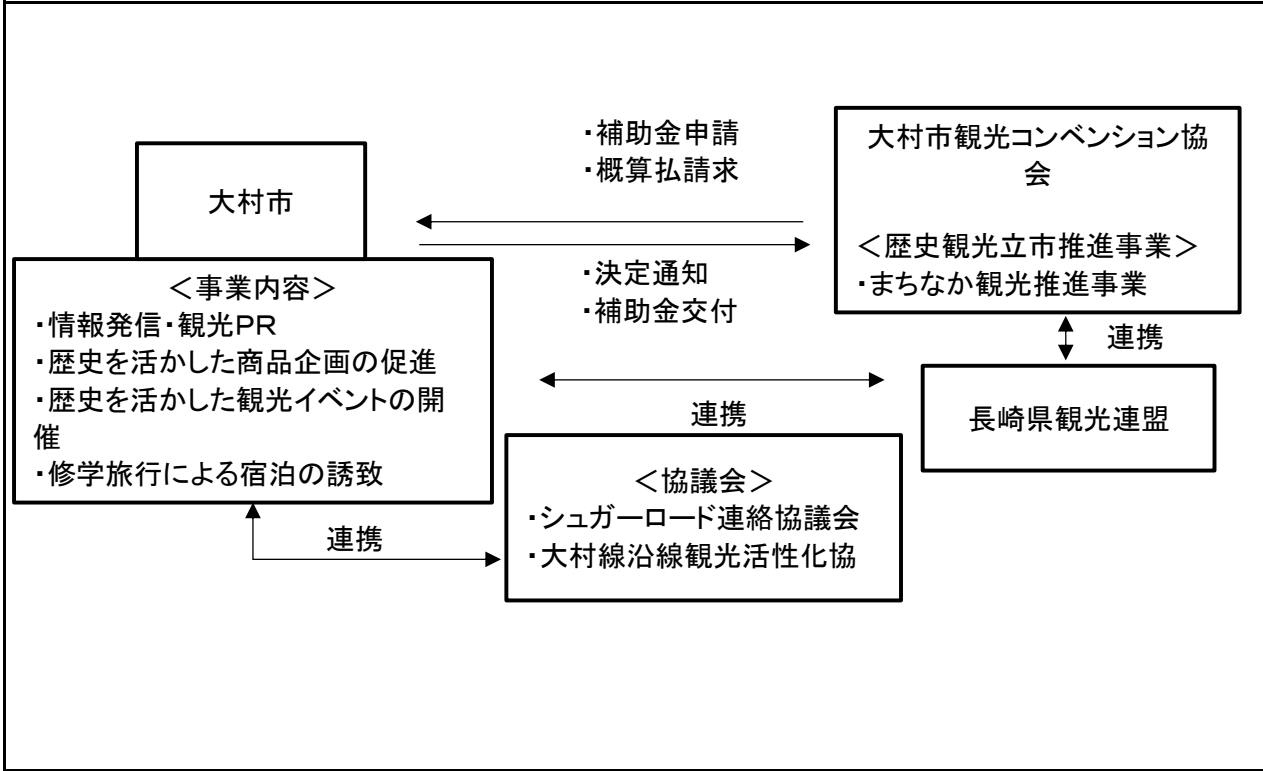
事業名	歴史観光立市推進事業	現状維持	予算額		6,786 千円
			《 》		7,535 千円
事業期間	平成17年度 ~	財源内訳	国庫支出金	87 千円	
			県支出金	千円	
根拠法令 要綱等			地方債	千円	
			その他	2,158 千円	
			一般財源	4,541 千円	

【事業の目的・概要・対象】

(目的)
 歴史を活かした観光交流都市「おおむら」を実現するために計画的に事業を推進する。個性溢れる魅力的な観光地づくり・多様なニーズに対応した観光地の魅力づくり・市民参加の観光まちづくり・観光基盤の整備促進

(概要)
 魅力ある観光地づくりを推進するため、歴史を活かした観光客誘致事業を展開する。
 市民参加の歴史観光推進事業・情報発信の強化事業・歴史を活かしたツアー商品企画開発事業・歴史を活かした観光イベント開催事業・歴史観光啓発事業

(対象)
 観光客、観光関連団体及び事業者



【背景】

平成30年6月末に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録され、国内外から観光客が訪れることが見込まれる。本市には、世界遺産の構成資産はないが、殉教の歴史を今に伝える史跡が多くあり、世界遺産を目当てに訪れる観光客に対して十分訴求できるものとする。しかし、本市の史跡は、ほとんどが殉教の歴史を示す記念碑であり、歴史を理解しなければ魅力を感じにくいものが多い。世界遺産を親に来る観光客に大村まで足を運んでいただくには、観光客が容易に史跡の歴史を知れる仕組みを構築するとともに有効なPRを行うことが重要である。

担当課	産業振興部観光振興課	課長	福江 都志
担当者	武内 拓馬	問合せ先	0957-53-4111 (内線242)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	歴史観光案内人 (おおむら歴史観光ボランティアガイドの 会会員数)	人	28	26	30	30	30
②	ホームページ更新件数(年間) (大村よかトコなび)	件	18	16	30	30	30

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	観光客数 (主要観光施設観光客数+イベント参加者 数)	千人	1,311	1,469	1,434	1,504	1,580
②	ホームページアクセス件数 (大村よかトコなび)	件	20,175	15,342	16,000	16,000	16,000

【予算・決算】(千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	9,722	8,122	7,535	6,786	6,786	6,786	45,737
国庫支出金				87	87	87	261
県支出金							0
地方債							0
その他	1,770			2,158	2,158	2,158	8,244
一般財源	7,952	8,122	7,535	4,541	4,541	4,541	37,232
人件費	11,913	9,210	8,166	8,166	8,166	8,166	53,787
職員(人)	1.47人	1.12人	0.96人	0.96人	0.96人	0.96人	6.43人
時間外勤務(h)	149h	70h	130h	130h	130h	130h	739h
嘱託員(人)	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	3.00人
フルコスト	21,635	17,332	15,701	14,952	14,952	14,952	99,524

妥当性 (市の関与)	「観光交流都市づくり計画」に基づいて、事業の振興を図り、観光客の誘致・増加による経済の活性化に繋げる事業については、市が関与することが妥当である。
有効性 (施策貢献度)	観光振興のために、具体的に取り組む事業は「観光交流都市づくり計画」の基本方針に基づくものであり、観光振興の施策として効果が高い。
効率性 (コスト)	観光関連団体や事業者、市民が観光振興に対する共通認識と協力関係を創り、連携した誘致活動やイベント開催を行う。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価者のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--